



川口教育



(特別講演会～ガイドランナーと共に戦う夢の舞台～ 戸塚西中学校)

第632号

【目次】

年頭のあいさつ	川口市教育委員会教育長	茂呂 修平	・・・(2)
教育随想①	「もってる男～教育は人なり～」		
	川口市立十二月田小学校長	石井 宏明	・・・(3)
教育随想②	「教 訓」		
	川口市立朝日東小学校長	熊谷 茂樹	・・・(3)
教育随想③	「人との出会いに感謝・・・」		
	川口市立南中学校長	戸谷 弘幸	・・・(4)
教育随想④	「何かがわかる・・・朝の学校」		
	川口市立十二月田中学校長	山角 厚志	・・・(4)
指導の手引き	中学校・国語科		
	「主体的に学習に取り組む態度」を見取る評価場面の設定について		
	川口市教育局学校教育部指導課 指導主事	大野 寛人	・・・(5)
教育ルポ			・・・(6)

題 字 川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

1 月号

—令和4年—

編集・発行 川 口 市 教 育 委 員 会

年頭のあいさつ

川口市教育委員会教育長 茂呂 修平



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和4年を、心も新たに希望に満ちた清々しい気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年、各学校・園におかれましては、「一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさをそなえた人材を育てる 川口の教育」の推進に多大なるご尽力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

振り返りますと、昨年8月の新型コロナウイルス感染症拡大による国の緊急事態宣言延長を受け、本市でも2学期開始にあたり、分散登校やGIGAスクール端末を活用したオンライン授業を余儀なくされ、通常授業再開まで、約1カ月の期間を要する事態となりました。

現在では、新型コロナウイルス新規感染者の数は減少しているものの、先行きは不透明な状況が続いています。引き続き、子供たちの心のケア並びに心の教育の充実をお願いいたします。

このような状況の中においても、青木中央小学校の学校保健文部科学大臣表彰、芝中学校の東日本学校吹奏楽大会金賞受賞、西中学校の全国中学校体育大会女子柔道個人優勝、青木中学校の男子空手団体優勝の他、中学校9校の全国大会への出場など、県・全国に川口の名を広めていただいた数々のうれしい報告がございました。これはまさに、各学校における熱心な取組が実を結び、大きく花開いた成果と捉えています。ご尽力いただきました学校関係者の皆様に感謝申し上げます。

さて、本年は、「一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさをそなえた人材を育

てる 川口の教育」を基本理念とした『川口市教育振興基本計画』を展開して、2年目を迎える年になります。知・徳・体の調和のとれた人間形成を図るとともに、子供たち一人ひとりがいきいきと学び、何事にも対応できる柔軟性と力強さを兼ね備えた人づくりに取り組んでまいります。

教育委員会といたしましては、引き続き、子供たちの確かな学力の向上を図ることを最重要課題として捉え、「個別最適な学び」・「協働的な学び」を軸とした教育活動を推進していきます。環境面では「令和の日本型学校教育」に基づくGIGAスクール構想の実現に向けて、子供たち一人ひとりの学びの最適化や、資質・能力の充実を図るための一人一台端末のさらなる活用を進めてまいります。

また、授業改善の手立ての一つとして、中学校英語科において「5ラウンドシステム」のさらなる定着と効果的な運用を図り、自分の考えや思いを英語で表現できる子供たちの育成を目指します。

さらに子供たちの成長をサポートする基礎づくりとして、いじめや不登校など生徒指導上の諸課題の未然防止及び早期解決、教育相談体制の充実、教職員の資質・能力の向上、学校を中心とした「地域とともにある学校」の推進、家庭・地域との連携等、質の高い学校教育を推進するための環境の充実に努めます。

各学校・園におかれましては、一人ひとりの子供に寄り添い、子供たちの課題を的確に把握し、必要な資質・能力を確実に身に付けさせるよう指導方法の工夫改善に努め、川口の子供たち一人ひとりが輝く教育活動の実現をお願いいたしまして、年頭のあいさつといたします。

<教育随想①>

「もってる男～教育は人なり～」

川口市立十二月田小学校長 石井 宏明



「もってる」って何を？
そう、私は「もっている」のです。
私の周りには「素敵な人」ばかり
集まる「運」を。

昭和36年6月、東京都足立
区の下町の商店街にある美容院

の長男として私は生まれた。

その名も「ニコニコ商店街」。

近所には花屋、肉屋、八百屋、あさり屋、豆腐屋、
たばこ屋、中華料理屋、パン屋が並んでいた。

小学生の頃は、学校からの帰りに「ただいま」

「おかえり」を20回以上繰り返さなければ家にた
どり着けなかった。あいさつが当たり前。

また、学校で悪さをしようものならば、その情報
は私が帰宅するよりも早く母親の耳に入り、帰るな
り「お帰り」の前にお小言が。昭和40年代の人の
口を介した情報伝達速度もかなり速い。

ある日、公園で野球をしていて、私の打った球が
近所の家(しかも怖いと評判のだ)の窓ガラスを割っ
てしまった。どうしようか、葛藤していると、「逃げ
るな!」、配達途中の酒屋のお兄さんからの一声。ハ
ッとなり、すぐに謝りに行った。あの時怖くて逃げ
ていたら…と思うと、ゾッとする。

私の「明るく、元気で、誰とでも仲よくしたがる」
性格は商店街のみなさんによって形成されたのだ。

私の周りにいる人がすべて先生だった。しかも素敵
な。そう、私は「もっている男」なのだ。

これは、教員になっても同じだった。

私の勤務してきた学校の校長先生をはじめとする
教職員の先輩、同僚、保護者や地域の方々。もちろん、
子供たちは、最高の宝。やはり「もっていた」

そして、「体育」を一から教え、鍛えてくださった先
輩や後輩。今でも尊敬して止まない人ばかり。

出会う人、すべてが素敵な人で、一緒にいると楽し
くて仕方がないのである。学ぶことも多い。今も。

「商店街に育てられた私」が、最後の最後に、家庭・
地域と学校が一体となって、子供たちをはぐくもうと
いう学校に、校長として務めることができたこともま
た、単なる偶然とは思えない縁(運)である。

やはり「もっている男」なのかも知れない。

<教育随想②>

「教訓」

川口市立朝日東小学校長 熊谷 茂樹



2019年12月21日。胃癌を宣告
される。全摘の上、周辺のリンパ及
び脾臓も切除する大手術になると
説明される。放置した場合、1ヶ月
は持たないらしい。3ヶ月早ければ
腹腔鏡手術で済んだとも言われる。

特段の感慨はない。否、感情が現実には追いつかない。

12月23日。職集で事情を説明する。手術に向けて
エコー、CT、内視鏡検査を淡々とする。

2020年1月15日。執刀医と今後の見通しを話し合
う。卒業式だけは何が何でも外せないと言う私に「術
後は抗癌剤の服用と6回にわたる抗癌剤の点滴投与
があります。特に点滴による副作用は重い倦怠感、脱
毛、味覚麻痺があり、仕事にも支障が出るかも知れま
せん。点滴は卒業式が終わってから始めましょう」と
言ってもらった。全幅の信頼が置けるドクターと出会
えた。

2月5日退院。10日復職。入院中は大勢の方にお見
舞いいただき至極恐縮。退院後は子供達、保護者の皆
様、地域の方々から励ましの言葉を沢山いただく。闘
病生活は始まったばかり。

2月28日。臨時校長会。コロナ禍第1波襲来によ
る休校が決まる。学校へ戻り、6年生に事情を説明。
児童のすすり泣きに私も嗚咽。

3月24日。第50回卒業証書授与式。登壇し、見渡
したあの会場の光景は決して忘れることができない。

第2波から第5波。手探りの対応を続ける。徹底的
なボトムアップにより、教職員全員の学校運営への参
画意識が高まる。皆、信頼できる。執務中は力が湧く
が、日に日に体重が減る。術前から20kg減。

2021年9月30日。2度目の緊急事態宣言解除。予
断は許されないが2年ぶりの運動会に感動。11月2
日定期検査の結果、再発なし。体重減止まる。

38年間の教育者生活の大半を「不遜と傲慢」で過
ごしてしまった。癌は私に「謙虚と寛容」を教えてく
れた。「禍」に生きると自身の無力への諦観と他人様
への心からの感謝が湧き起こることを知った。恩返し
の人生を始めねばならない。

<教育随想③>

「人との出会いに感謝・・・」

川口市立南中学校長 戸谷 弘幸



人には出会いがある。その出会いが人生を決めることもある。

私が中学校の体育の教師になったのは、中学2年生のときに、ある先生と出会ったおかげだ。その

先生は、鉄棒が苦手だった私に放課後も付き添い、鉄棒を教えてくれた。やっと技ができた私は「できる喜び」を体感した。そのとき、「よし、僕もこの先生のようになろう」そう決意した。それからは、中学校の先生になりたいと、高校、大学と体操競技部で心と技を磨いた。特に大学では、顧問の先生の「やる気」「負けん気」「根気」の指導の下、粘り強く、できるまで諦めないことの大切さを教えられた。

そして、大学4年の7月に埼玉県教員採用試験を受け、無事に合格した私のもとに、翌年3月末に「私、岸川中学校長の…」と、着任校校長から電話がかかってきた。中学生のときから念願だった「中学校の先生」になれた瞬間だった。

17年間の教員生活は、教科指導、学級担任、部活動と、生徒と共に喜び、悲しみ、汗をかき、涙も流した。生徒の存在は私自身を励まし、その経験は私を成長させてくれた。また、行政での7年間は、業務の段取り、学校と行政の調整など、市役所各課の職員の皆さんと交流し、人間関係の幅を広げることができた。

そして、校長となって3校を経験し、今年で10年目を終えようとしている。特にこの1年は、川口市立校長会長、中学校長会長職も経験させていただいた。考えてみると困難に遭うこともあったが、時間がかかっても一つのことに丁寧に取り組んだことで、最後までやり遂げることができたのだと思う。その中で、一緒に仕事をした教職員の行動や実践力にたくさんの「勇気」をもらった。私はこれらの「宝物」を生涯大切にしていきたいと思う。

最後に、川口市役所(教育局)に勤務したからこそ出会えた方々。校長になっていなければ出会えなかった方々。また、在職した6校の教職員の皆様。今まで出会ったすべての方々に感謝申し上げ、併せて、川口市立校長会のますますの発展を祈念し、感謝の言葉といたします。

<教育随想④>

「何かがわかる・・・朝の学校」

川口市立十二月田中学校長 山角 厚志



昭和59年2月。3月の大学卒業前に教育実習でお世話になった学校から病休代替の話があり、4月の本採用より前に教職の仕事が始まりました。

その4月には、越谷市立大相模中学校に初任者として着任しました。学校は、当時開校2年目で、よく大相撲と読み間違えられていたものです。また全国的にも校内暴力の全盛期で、多くの先生方が大変な思いで毎日生徒と戦っている感じでした。大学卒業仕立ての22歳で3年生担任。何をどうすればよいのかわからないまま、ただただ先輩方のまねをして、厳しくも温かい？指導をされながら、ついて行くのが精一杯の日々でしたが、当時の先輩教員の言葉は、今も私の教員生活の生命線になっています。それは毎朝出勤したらすぐに生徒のいない校舎を回った時の言葉です。私は朝練のために早く出勤しているのに、毎朝「おい、行くぞ」の一言で校舎を一緒に回らされました。7時前の校舎はさすがに静かで前日までの喧噪が嘘のようです。何を見ればよいのですか？という質問にはいつも無言のまま。そして誰かに話しかけるわけでもなく「何かがわかる」とぼそり。何をどう見ていいかわからず、ただただ校舎を回っていましたが、不思議なことに、先輩がいなくても一人で回る習慣はついていました。いつしか「昨日と違う・今までと違う・なぜだろう」と思いはじめ、いつの間にかその答えを知りたくなっている自分がいました。38年たった今もその流れが体に覚え込まれております。歳月が過ぎ去り、あの教室では昨日何が起こったのかが想像が出来るようになり、机の整然とした並びから担任の思いやロッカーの変化だけでそのクラスのことを自分なりに感じるようになりました。教頭時代には、私と一緒に校舎を回ってくれた先生もいました。「先生、どうして朝回るのですか」と聞かれて私は「何かがわかるんだよ」と応えていました。十二月田中でも毎朝誰もいない静かな教室を回っています。教えることは出来なくとも、見て何かを感じる事、そこから**考え行動に移す事**は出来ます。

教職38年・川口にお世話になり11年。温かく人間味ある先生方と多く出会えたことに感謝しつつペンを置きたいと思います。お世話になりました。

指導の手引き 中学校・国語科「主体的に学習に取り組む態度」を見取る評価場面の設定について
川口市教育局学校教育部指導課 指導主事 大野 寛人

1 はじめに

評価において、これまでの「関心・意欲・態度」は、「国語科が対象とする学習内容に関心をもち、自ら学習に取り組もうとする意欲や態度を評価する。他の観点に係る資質や能力の定着に密接に関係すること。」とされていた。しかし、今年度の学習指導要領の改訂に伴って、「主体的に学習に取り組む態度」は、①「知識及び技能」を獲得したり、「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりすることに向けた、**粘り強い取組を行う**という側面と、②その取組を行う中で、**自らの学習を調整しようとする側面**、という二つの側面を評価することが必要であることが明確に示された。

ここでは、「主体的に学習に取り組む態度」において、**指導と評価の工夫がされた授業例**を紹介する。
※なお、実際は「知識及び理解」「思考力、判断力、表現力等」の単元の目標は、複数立てることになると思われるが、ここでは「主体的に学習に取り組む態度」の設定に関わる事項のみを抜粋した。また、下の矢印は「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準作成の過程を示している。

2 授業例（中学校1年）

【単元名・教材名】話の構成を工夫しよう

好きなことをスピーチで紹介する（4時間）

【単元の目標】

- 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、**話の構成を考える**ことができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉A(1)イ
- 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

【本単元における言語活動】

- 聞き手にとってわかりやすく、興味を引く**スピーチをする**。
(関連: 言語活動例 A(2)ア)

【単元の評価規準】

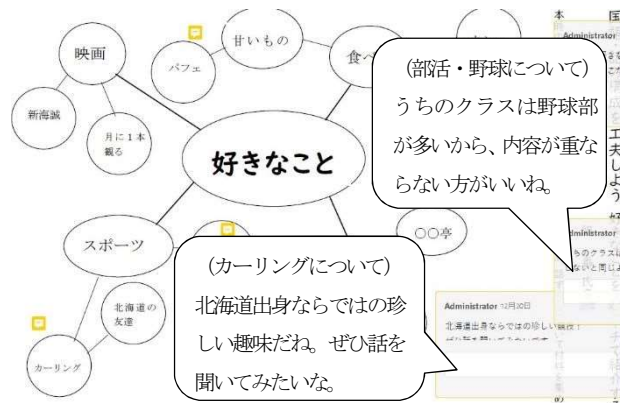
- ① **粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもってスピーチをしよう**としている。
(主体的に学習に取り組む態度)

1 時間目

【主体的に学習に取り組む態度の
評価を見取る視点】

観察・ワークシート

- ここでは、学習の見通しをもって、友達からの助言を生かして、聞き手が興味をもつようなスピーチにするための話題を設定しようとしているかを確認する。



《評価を見取るための手立て》

GIGAスクール端末を活用し、ワークシートを文書作成ソフトの形式で配布した。しかし、この形式ではテキストボックスへのコメントはできないため、ワークシートへ考えを記入した後、PDFに変換し、付箋機能でコメントできるようにした。そして、友達からの意見を踏まえて自己調整し、スピーチの話題を決定する過程を見取ることができるようになった。

2・3 時間目

【主体的に学習に取り組む態度の
評価を見取る視点】

観察・ワークシート

- ここでは、友達とのスピーチ練習や助言を通して、粘り強く、聞き手にとってわかりやすい構成にしようとしているかを確認する。

《評価を見取るための手立て》

スピーチの構成を考える過程でも、文書作成ソフトのコメント機能を活用した。友達と互いの改善点を助言し合いながら、よりわかりやすく、より聞き手の興味を引くスピーチとなるように、粘り強く修正を加えているかを見取ることができるようになった。

3 おわりに

「主体的に学習に取り組む態度」は、単に活動しているかどうかではなく、設定した指導事項を言語活動を通して発揮しようとしているかどうかをみるのが重要である。生徒の資質・能力を育成するため、引き続き、実践と蓄積、そして改善をお願いしたい。

教育ルポ

第15回川口市子ども造形展が開催されました。幼稚園児から高校生までの素晴らしい造形作品が集まりました。



【第15回川口市子ども造形展 12月11日～12日 於：川口市立教育研究所】



【青木中央小学校】



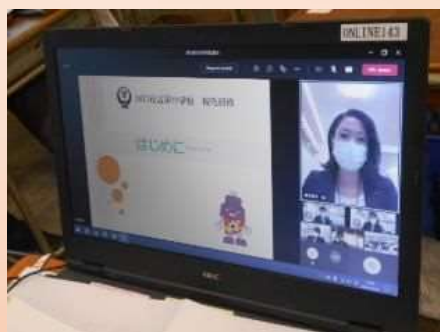
◇食育出前授業◇



◇児童朝会（開校記念日お祝い）◇



【里小学校】



◇オンラインでの校内授業研究協議会◇



◇あいさつ運動（ピンクシャツデー）◇



◇異学年交流（学区内清掃）◇



◇第5学年 校内大貫海浜学園
キャンドルファイヤー・学年レク◇